

令和 8 年 9 月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書
(通告者 13 名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 農業者に対する物価高騰対策について	(3) 今後の跡地利用について、所有者等から市に対して説明や情報提供はあるのか。また、本市から所有者等に対して、今後の利活用に関する情報収集や意見交換などを行っているのか伺う。 (4) 民間所有地ではあるが駅周辺の立地であることから、まちづくりや地域経済、観光振興等への影響が大きい土地であると考え。跡地の再開発について、観光、商業、交流、子育てなどの拠点としての活用を官民一体となって検討すべき。 (1) 肥料、農薬、燃料、農業資材、農業機械等の価格高騰が続いているが、市内の農業者にどのような影響があると捉えているのか伺う。 (2) 今後、物価高騰対策に関して助成をするに当たり、農業者の意見や要望などを聞く予定はあるのか伺う。 (3) 肥料、農薬、燃料等の購入費に加え、農業機械や設備の更新・修繕費等の負担も増加しているなど農業経営はますます厳しい環境下にあると考える。農業者の経営継続を支えるための支援を拡充すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
4	1 安全な地域社会の実現のための環境整備について	2 番 今野 慎介 (1) 本市における直近 3 年間の刑法犯認知件数及び犯罪種別ごとの刑法犯認知件数を伺う。 (2) 本市における刑法犯認知件数をどのように捉えているのか伺う。 (3) 名取市第六次長期総合計画の主要施策に位置づけられている警察署の設置促進について、これまでの取組と進捗状況を伺う。 (4) 市民生活の安全・安心を確保するため、閑上及び下増田駐在所の交番への機能強化と、土地区画整理事業等による人口の変化や市街化に対応した交番または駐在所の適切な配置について、宮城県警察本部に強く働きかけるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
5	1 高次脳機能障害について	1 2 番 菅原 和子 (1) 本市における過去 5 年間の脳卒中や頭部外傷などをきっかけに、高次脳機能障害と診断された本人または家族からの相談件数について伺う。 (2) 高次脳機能障害者支援法が令和 8 年 4 月に施行されたことを踏まえ、自治体に求められる役割について、どのように認識されているのか伺う。 (3) 市ホームページに高次脳機能障害の概要や相談窓口を掲載するとともに、県の高次脳機能障害に関するページや宮城県リハビリテーション支援センター等へのリンクを設けるべき。	市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 名取市食品ロス削減行動指針について	(1)本市では、名取市食品ロス削減行動指針を令和8年度から令和12年度までの5年間を期間として策定した。食品ロスをどの程度削減することを目標としているのか伺う。 (2)食品ロス削減に向けて、市民一人一人の行動変容につなげるための具体的施策を今後どのように展開していくのか伺う。また、スーパー、飲食店等の食品関連事業者との連携をどのように進めていくのか伺う。 (3)食品ロス削減の取組を市民に分かりやすく伝えるため、取組実績などを見える化し、市ホームページ等で公表すべき。	市 長 市 長 市 長	
6	1 行政計画体系の構造的課題と改善方針について 2 なとり文化芸術祭の現状と今後について	13番 吉田 良 (1)本市が策定し公表している行政計画の現在の総数と、義務的法定計画・努力義務的法定計画・任意計画の内訳について伺う。また、直近5年間における年度ごとの新規策定数を伺う。 (2)行政計画の策定業務を外部委託する場合の判断基準、委託部分の範囲、積算根拠等、基本的考え方を伺う。 (3)行政計画の策定プロセスを標準化し、A I活用等により内製化を進め、外部委託への依存を縮減すべき。 (4)行政計画の策定に当たり、住民の現状認識やニーズを把握するために用いられる方法を伺う。 (5)行政計画の根拠となる住民ニーズの把握を強化するとともに、住民アンケート及びデータ活用の効率化を図るべき。 (6)行政計画の標準的な進捗管理、評価及び更新の現状を伺う。 (7)行政計画の評価において、計画間の整合性を踏まえたK P Iの設定など定量的な評価手法を導入し、更新の質を高めるべき。 (1)参加団体数の推移や負担金、運営の在り方、集客など、現状における課題をどのように把握しているのか伺う。 (2)名取市文化協会の会員以外にも参加対象を広げたなとり市民文化祭の成果をどのように捉えているのか伺う。 (3)負担金の増額を抑えつつ、集客の増加につながるよう、他の行事との連携や統合の可能性を検討すべき。	市 長 教育長 消防長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 教育長 教育長 教育長	
7	1 地球温暖化対策について	1番 阿部 正義 (1)市の公共施設全体の電気使用量は、名取市地球温暖化対策実行計画の事務事業編によれば平成30年度から令和4年度にかけて2割増加している。直近の状況を伺う。	市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(2) 公共施設等に導入済みの太陽光発電は、名取市地球温暖化対策実行計画の事務事業編によれば令和4年度時点で発電量が消費電力の2.3%にとどまっている。直近までの推移と今後の取組について伺う。 (3) 名取市地球温暖化対策実行計画の事務事業編及び名取市公共施設等総合管理計画では、公共施設への太陽光発電導入は方針として掲げられているが、導入容量や達成年度といった数値目標は示されていない。数値目標を設定すべき。 (4) 公用車E V化と市の公共施設への太陽光発電導入や増設を組み合わせ、地球温暖化対策を一体的に推進すべき。 (5) 市の公共施設への太陽光発電導入や増設に当たっては、初期費用を伴わないP P A方式の導入を推進すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
8	1 スポーツ施設の整備充実等について	9 番 千葉 栄幸 (1) 体育施設整備方針策定事業の進捗状況及び今後のスケジュールについて伺う。 (2) 体育施設整備方針策定に当たり、屋内・屋外施設別に現況から大きく変更となる施設整備はあるのか伺う。 (3) 解体が終了した増田体育館の跡地利用の考えについて伺う。 (4) 地球温暖化の影響により、日中の屋外運動時間が大幅に減少している。スポーツ振興くじ助成金等を活用し、学校施設を開放している中学校のグラウンドにナイター設備を整備すべき。 (5) 名取市スポーツ推進計画においてスポーツ資源と位置づけられている各公民館のホールにもスポットクーラーが導入された。利用者の評価及び課題をどう捉えているのか伺う。 (6) 過去3か年の名取市民陸上競技場の年間稼働日数、休業日数、芝養生日数、競技別利用件数及び利用者数について伺う。 (7) スポーツ振興くじ助成金等を活用し、名取市民陸上競技場をナイター設備が整備された人工芝グラウンドにすべき。 (8) 本物のスポーツに触れる機会を創出するため、東北楽天ゴールデンイーグルスの2軍拠点の誘致を検討すべき。	教育長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長 教育長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長	
9	1 市役所における心の健康づくりと健康経営に向けた取組について	17 番 小野寺 美穂 (1) 直近3年間の職員の病気休職者数、特に精神疾患による休職者数及び中途退職者数の推移を伺う。 (2) 特定の部署や首長と直接関わる機会の多い幹部職員等において、休職や異動の頻度が不自然に高くなっている事実はないのか伺う。	市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(3) 職員に対してアンケート調査やストレスチェックを実施しているが、首長を含む上層部からの言動に対する不安や不満の声はあるのか伺う。 (4) 健康経営に向けての具体的な取組について伺う。 (5) 職員一人一人が心身共に健康で、その能力を最大限に発揮できる職場環境を築くため「心の健康づくり計画（仮）」を策定すべき。	市 長 市 長 市 長	
1 0	1 多様な移動支援に対する実効性のある行政支援について	1 0 番 板橋 美保 (1) なとりん号・なとりんくるではカバーしきれない病院受診など市外への移動の困り事に対する市の認識について伺う。 (2) 住民主体の移動支援団体が直面する危機的状況に対し、行政による伴走型の支援を講ずるべき。 (3) 神奈川県秦野市では、地域で支え合う運転手の育成・発掘を目的として、ドライバー養成研修を実施している。本市においても同様の仕組みを構築すべき。 (4) 広域的な移動への住民ニーズに対し、住民の手による広域送迎や福祉有償運送に係る車両費・保険料等を支援すべき。 (5) 移動支援団体が総合的に相談できる窓口を設置すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
1 1	1 成年後見制度について 2 薪ストーブの適切な使用に向けた啓発について 3 HPVワクチンの副反応について	1 4 番 大友 康信 (1) 利用促進の取組について伺う。 (2) 市民後見人の育成の取組について伺う。 (3) これまで本市から家庭裁判所に申し立てた件数と認定された件数について伺う。 (4) 本人や家族が望まない申立てが全国的に社会問題となっている。その事例や課題を調査研究し、本市から家庭裁判所に申し立てる場合は、より一層慎重に進めるべき。 (1) 令和 8 年 3 月 21 日に発生した火災の出火原因を伺う。 (2) 令和 8 年 6 月定例会における薪ストーブ関連の一般質問の答弁では、適切な維持管理により火災の危険性は低いとのことであった。出火原因の特定後も、この認識に変更はないのか伺う。 (3) 女性消防隊による火災予防啓発活動において、薪ストーブ設置世帯の把握に努め、離隔距離や維持管理状況の確認と安全啓発を行うべき。 (1) 全国的な健康被害の状況について、本市ではどのように捉えているのか伺う。 (2) 本市で把握している副反応件数について伺う。また、健康被害の把握方法について伺う。	市 長 市 長 市 長 市 長 消防長 消防長 消防長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(3) 接種後に副反応が疑われる症状や、慢性的あるいは継続的な体調不良を訴えている児童生徒はいるのか伺う。 (4) 重篤な副反応の症状や、長期にわたる健康被害の実態を周知すべき。	教育長 市 長	
1 2	1 育児ヘルプサービスについて 2 旧若竹園の今後の活用について	6 番 寺嶋 雅子 (1) 現在の利用状況及び待機の実態、待機が生じている要因をどのように把握しているのか伺う。 (2) 利用実態や担い手不足の現状を踏まえ、必要な家庭へ適切に支援が届くよう、利用条件の見直しやファミリー・サポート・センター等の他事業との連携を含め、今後の利用の在り方を検討すべき。 (3) 担い手不足の現状を踏まえ、市外事業者への委託を含めた担い手確保の方策を検討すべき。 (1) 旧若竹園について、今後どのような活用を検討しているのか伺う。 (2) 周辺施設や地域とのつながりを生かし、将来的な地域ニーズへの対応も見据え、子育て・福祉・教育分野における需要に対応する場所として活用すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 教育長	
1 3	1 子ども110番の家について 2 ICT教育について	8 番 笹森 波 (1) 本市における子ども110番の家の過去2年間の登録数を伺う。 (2) 学校・地域・PTAが連携して支える仕組みがあるのか伺う。 (3) 学校と警察が連携し、新規登録者確保に向けて積極的に取り組むべき。 (4) 子ども110番の家の場所や助けの求め方についての周知方法を伺う。 (5) 福島県矢吹町では子ども110番の家マップを作成し、防犯活動に取り組んでいる。本市でもマップを作成し、防犯訓練などに活用すべき。 (6) 児童生徒が安心して地域で活動できる環境づくりの一環として、子ども110番の家を学校だよりや広報紙等で周知すべき。 (1) 小中義務教育学校におけるデジタル教科書の導入状況を伺う。 (2) 小中義務教育学校におけるデジタルドリルの活用状況を伺う。 (3) 児童生徒の集中力、書く力、読み解く力の低下など、脳の発達や学習への影響に加え、視力の低下など健康面での影響も指摘されている。このようなデジタル化の悪影響に対する認識と対策について伺う。 (4) 発達段階や教科に応じ、紙とデジタルを適切に使い分けるべき。	教育長 教育長 教育長 教育長 教育長 教育長 教育長 教育長 教育長 教育長	